

公益社団法人・日本精神神経科診療所協会の自殺対策活動について

日本精神神経科診療所協会

会長 渡辺 洋一郎

1.平成 25 年に自殺対策プロジェクトチームが発足

2.平成 24 年から毎年 2 月に自殺予防対策講演会を開催

第一回 「自殺予防における精神科医療への期待」

講演：清水泰之 NPO 法人自殺対策支援センターライフリンク代表
本橋 豊 秋田大学教授

第二回 「過量服薬・大量服薬と自殺予防」

講演：林 直樹 都立松沢病院精神科部長
田島 治 杏林大学教授

第三回 「ゲートキーパーと精神科医療との連携」

基調講演：張 賢徳 帝京大学精神科部長
シンポジスト：斉藤友紀雄、馬場優子、西村由紀

第四回 「救急医療における自殺未遂・過量服薬、自傷行為をめぐって」

シンポジスト：三宅康史、関川浩司、羽藤邦利、恵智彦

第五回 「かかりつけ医と精神科診療所の連携」

基調講演：川西千秋 札幌医科大学附属病院神経精神科 教授
シンポジスト：宮川政昭、西村由紀、三木和平

第六回(平成 29 年 2 月予定) 「職場での自殺予防」

シンポジスト：渡辺洋一郎 日精診会長ほか

3.会員クリニックでの自殺の実態調査を毎年実施

- ・平成 19 年から埼玉県各地区協会が始め、平成 26 年からは、埼玉県、神奈川県、滋賀県の三地区協会で開催
- ・平成 26 年 7 月から平成 27 年 6 月までの調査結果 63 人(埼玉県 19 人、神奈川県 26 人、滋賀県 18 人)の要約は以下のとおりである

(1)性別：男性 38 人(60.3%)、女性 25 人(39.7%)

(2)死亡時年齢：平均年齢 48.0 歳(19 歳から 83 歳まで)。

(3)最終受診から自殺までの日数：63 人中 22 人(35%)が一週間以内に自殺

(4)診断(ICD-10 による)：F2(精神病的障害)8 人(12.7%)、F3(気分障害)42 人(66.7%)、

F4(神経症性障害など)4 人(6.4%)、F6(パーソナリティ障害)5 人(7.9%)、その他 4 人(6.3%)

(5)自殺企図の有無：あり 16 人(25.4%)、なし 41 人(65.1%)、不明 6 人(9.5%)

(6)自殺企図のありの性別：男性 6 人(全男性の 15.8%)、女性 10 人(全女性の 40%)

(7)自殺の方法：縊首 31 人(49.2%)、飛降り 6 人(9.5%)、練炭 3 人(4.8%)、

過量服薬 2 人(3.2%)、鉄道 2 人(3.2%)、その他 10 人(15.9%)、不明 9 人(14.2%)